⑩日本国特許庁(JP)

①実用新案出額公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭63-66054

@Int\_Cl\_4

識別記号

厅内整理番号

母公開 昭和63年(1988)5月2日

H 02 K 5/14 13/00 A-6821-5H T-6435-5H

審査請求 未請求 (全 頁)

❷考案の名称 ブラシ保持装置

②実 顧 昭61-161190

田野 顧 昭61(1986)10月21日

砂考 案 者

山口 昭彦 千葉県松戸市松飛台430番地 マブチモーター株式会社内

①出 願 マブチモーター株式会 千葉県松戸市松飛台430番地

社

30代 理 人 弁理士 森 田

寬 外2名

#### 明細書

- 1. 考案の名称 プラシ保持装置
- 2. 実用新案登録請求の範囲

ブラシ挿入孔が設けられたブラシ・アームと、中央部にブラシ挿入部を備えかつ該ブラシ挿入部の対向縁にブラシを挟持する挟持片が設けられた弾性部材の固定板とを備え、前記ブラシ・アームと挿入されたブラシの両側面とを前記固定板で固定するようにしたことを特徴とするブラシ保持装置。



#### 3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本考案は、ブラシ保持装置、特に小型のモータ 等に使用するプラシを実質上剛体で構成されたプ ラシ・アームに固定するプラシ保持装置に関する ものである。

588

#### (従来の技術)

従来、小型のモータ等に使用されるブラシの保持装置は、ばね材のブラシ・アーム先端部にカーボン・ブラシを挿入する切起しを加工形成し、該切起しにカーボン・ブラシを圧入しため、導電性接着剤で接着固定しためしていた。

### (考案が解決しようとする問題点)

従来の様に導電性接着剤でカーボン・ブラシを ブラシ・アームに固定するのでは、その固定する という点では確実性があるが、非能率的であり、 大量生産に向かない欠点があった。

森田等

そして、ばね材のプラシ・アームを用いたプラシ保持装置は、プラシ・アーム自体の弾性を利用してコミュテータを押圧しているため、ばね材を用いなければならない等の制約があり、さら高に電率が高くできない欠点があった。また最近高出力のモータを得るに当って、プラシ・アームを得ることが考慮されていて、プラシを保持アームの弾性を利用してカーボン・プラシを保持

することがむずかしくなってきた。

本考案は上記の欠点を解決することを目的としており、プラシ・アーム自体にはいわばばね材を使用しないで導電率の優れた実質上剛体の部材を用い、能率良くプラシ・アームとカーボン・プラシとの組立を行うことのできるプラシ保持装置を提供することを目的としている。

なお、コミュテータへのブラシの押圧は別個に 案出された圧力付加装置で付与することによって 解決している。

### (問題点を解決するための手段)

そしてそのため本考案のプラシ保持装置はプラシ挿入孔が設けられたプラシ・アームと、中央部にプラシ挿入部を備えかつ該プラシ挿入部の対向縁にプラシを挟持する挟持片が設けられた弾性部材の固定板とを備え、前記プラシ・アームと挿入されたプラシの両側面とを前記固定板で固定するようにしたことを特徴としている。以下図面を参照しつつ説明する。



#### (実施例)

第1図は本考案に係るブラシ保持装置の分解斜視図、第2図は第1図図示のブラシ・アームの A-A 矢視図、第3図はブラシ組立後の縦断面図、第4図は本考案に係るブラシ保持装置の他の実施例の分解斜視図、第5図は第4図のブラシ組立後の縦断面図、第6図ないし第8図は上記第1図ないし第3図に対応する他の実施例を示している。

一実施例が示されている第1図、第2図、第3 図において、カーボン・ブラシ13が固定された 先端部だけが図示されたブラシ・アーム1には、 カーボン・プラシ13が挿入されるブラシ挿入 2が穿設されており、その両端には折曲が部3、 4が設けられ、プラシ・アーム1の補強がはないる。該ブラシ・アーム1は実質上剛体であればよく、後に説明する様に折曲が部3、4に対ればよく、後に説明する様に対話を良好にあればよい。ブラシ挿入に配える構造或にするにない。ブラシ挿入1にないの突出しい5、6が複数個設けられている。



ばね材で作られた固定板7の中央部には、切り 起したブラシ挟持片9、10が形成されていると 共に、カーボン・ブラシ13が挿入されるブラシ 挿入部8が設けられている。そして該固定板7の 両端には折曲げ片11、12が形成されている。 該固定板7は上記ブラシ・アーム1の内側に嵌挿 され、第3図図示の如く該固定板7のばね材によって折曲げ片11、12はプラシ・アーム1の 市が部3、4の各内側をそれぞれ押圧する。また 該固定板7のブラシ挟持片9、10は、固定板7 に圧入されたカーボン・ブラシ13の段差側面を それぞれ押圧挟持し、該固定板7を介してプラシ ・アーム1にカーボン・プラシ13を固定させる。

次に組立て方を説明すると、ブラシ・アーム1を固定しておき、カーボン・ブラシ13を上方に移動させ、カーボン・プラシ13の段差のある頭部をブラシ・アーム1のブラシ挿入孔2に挿入する。次に固定板7を下方に移動させ、該固定板7を力ーボン・ブラシ13の段差のある頭部に圧入する。そしてさらに下方に固定板7を移動させ、

固定板 7 をブラシ・アーム 1 の内側に嵌挿すると、上記説明の如く固定板 7 のばね材によって折曲げ片 1 1 1 2 がブラシ・アーム 1 の折曲が部 3 7 4 の各内側を押圧し固定する。このとき固定板 7 のブラシ挟持片 9 7 1 0 の内側はカーボン・プラシ 1 3 の段差のある頭部側面を挟持固定していることは上記説明の通りである。そしてプラシ・アーム 1 に設けられた突出し部 5 7 6 がカーボン・ブラシ 1 3 に食い込み、その固定と電気的電導性を確保する。



以上の組立はブラシ・アーム1を固定する場合を説明したが、カーボン・ブラシ13を固定にしてブラシ・アーム1及び固定板7を下方に移動させる組立法、また固定板7を固定にし、ブラシ・アーム1及びカーボン・ブラシ13を上方に移動させる組立法いずれの組立法も可能であり、自動組立することが可能である。

本考案に係るブラシ保持装置の他の実施例を示している第4図、第5図において、ブラシ・アーム1は上記説明のものと同様の実質状剛体で構成

されており、ブラシ挿入孔2が穿設されていると共に折曲げ部3、4をその両端に備え、該折曲げ部3、4に位置固定用のフック受部14、15が設けられている。

ばね材で作られた固定板16は、その中央部に 切り起したプラシ挟持片17、18が形成されて いると共に、カーボン・ブラシ13が挿入される 一端開放のブラシ挿入部19を備え、コの字形状 をなしている。そして該固定板16の両端には折 曲げ片 2 0 、 2 1 が形成されている。該折曲げ片 20,21にはフック22,23がそれぞれ設け られ、プラシ・アーム1の各折曲げ部3、4に設 けられたフック受部14,15とそれぞれ係合し, プラシ・アーム1の内部に挿入される固定板16 の位置決めを行う。該固定板16は第4図図示の 矢印方向から上記ブラシ・アーム1の内側に嵌挿 され、第5図図示の如く該固定板16のばね材に よって折曲げ片20、21はブラシ・アーム1の 折曲げ部3、4の各内側をそれぞれ押圧しながら スライドされる。また該固定板16のプラシ挟持



片 1 7 , 1 8 は, 固定板 1 6 のプラシ挿入部 1 9 に挿入されたカーボン・プラシ 1 3 のテーパを有する段差側面をそれぞれ押圧挟持し, 固定板 1 6 を介してブラシ・アーム 1 にカーボン・ブラシ 1 3 を固定させる。



The state of the s

プラシ13のテーパを有する段差側面を固定板16のプラシ挟持片17,18が押圧しながらスライドする。また固定板16の折曲げ片20,21がプラシ・アーム1の折曲げ部3,4の内们をそれぞれ押圧しながらスライドし、固定板16の折曲げ片20,21に設けられたフック22,23がプラシ・アーム1の折曲げ部3,4に設けられたフック受部14,15に係合する。これによって固定板16とプラシ・アーム1とが固定板16を介して固定される。

この場合の組立て方においても、カーボン・ブラシ13を固定して組立て、或いは固定板16を固定して組立てることができる。

第6図ないし第8図図示の実施例は、第1図ないし第3図において符号3、4、11、12に対応する箇所が欠除したものを示しており、ブラシ挟持片9、10でカーボン・ブラシを保持する。 第4図および第5図に示す上記実施例についても、 第6図ないし第8図図示と同様な変形を採用する

ことができる。

#### (考案の効果)

以上説明した如く、本考案によれば、自動機による組立が容易に可能となって大量生産ができ、またプラシ・アームに設けられた突出し部によりカーボン・ブラシとの電気的接続が良好となり、接着による固定と同等の電気特性を得ることができる。



#### 4. 図面の簡単な説明

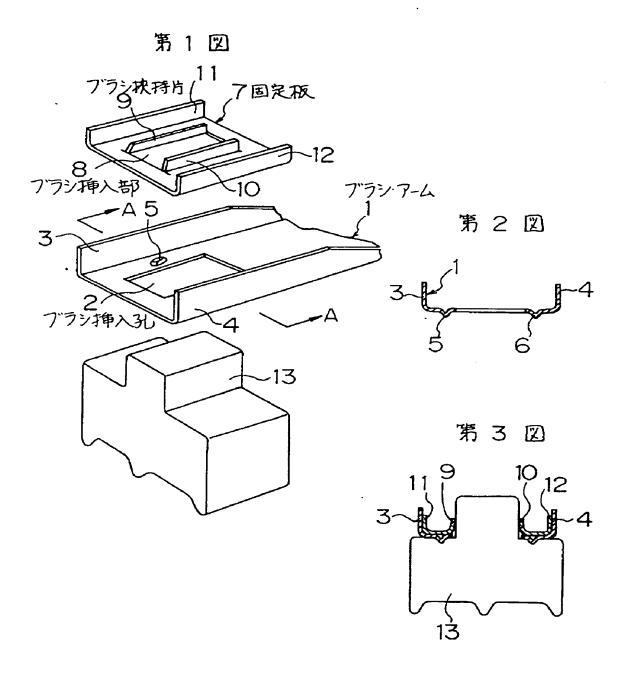
第1図は本考案に係るプラシ保持装置の分解斜視図、第2図は第1図図示のブラシ・アームのA-A矢視図、第3図はブラシ組立後の縦断面図、第4図は本考案に係るブラシ保持装置の他の実施例の分解斜視図、第5図は第4図のブラシ組立後の縦断面図、第6図ないし第8図は上記第1図ないし第3図に対応する他の実施例を示している。図中、1はプラシ・アーム、2はプラシ挿入孔、

3, 4 は折曲げ部, 5, 6 は突出し部, 7 は固定

板、8はプラシ挿入部、9、10はプラシ挟持片、11、12は折曲げ片、13はカーボン・プラシ、16は固定板、17、18はプラシ挟持片、19はプラシ挿入部、20、21は折曲げ片を表わしている。

が問題

実用新案登録出願人 マプチモーター株式会社 代理人 弁理士 森 田 寛(外2名)



出 願 人 マブチモーター株式会社 代理人弁理士森田 寛 (外2名)

i,

509. :

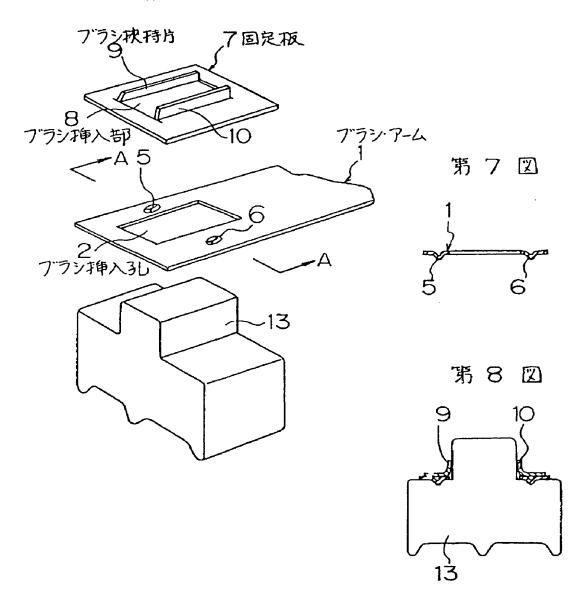
実明 63 = <del>6 1 2 5 4</del> 。

出 願 人 マブチモーター株式会社代理人弁理士 森田 寛 (外2名)

13

609 - 66054 実服 63 ~ <del>(135</del>4

第6図



出 願 人 マブチモーター株式会社 代理人弁理士 森 田 寛 (外2名)

60 L 実明*中* 660**54** 

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

### BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LÎNES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
OTHER:

### IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.